

私も力になりたい

国や県が作った法律で、沢山のハンセン病患者の方が苦しまれ人生を奪われたと思います。

私は、何度か恵楓園の前を通ったことがあります。その時に印象に残ったのは2メートルを超える高い壁でした。この壁はとても厚く、そこに小さい穴が開けられていました。それを見たとき、「なんでだろう」と思っていたけど、ハンセン病について学んでいくにつれて、この壁やそこに開けられた穴の意味が分かりました。とても胸が締め付けられる思いでした。

私は、入所者の方々はすごいと思います。病気に負けずに頑張ってきたからです。しかし、それを理解していない人が、誹謗中傷の手紙などでハンセン病患者の方たちを傷つけていたのを知り、とても許せない気持ちになりました。

差別をするのは、正しい知識を持っていないからだだと思います。ですから、きちんと正しく理解してほしいと思います。

今でも差別が完全には無くなっていないと聞き、私も何か力になりたいと思いました。まずは、私たちがハンセン病のことをみんなに伝えて、正しい知識を持ってもらいたいです。

(2年 女子)